

令和 6 年度

高松市中小企業勤労者福祉共済事業アンケート調査結果報告書

高松市創造都市推進局産業經濟部産業振興課

アンケート概要

調査目的	高松市中小企業勤労者福祉共済条例（昭和50年高松市条例第46号）に基づく高松市中小企業勤労者福祉共済事業（愛称：ウェルぱる高松）について、今後の運営方針を検討するため、加入者である事業主と、被共済者である従業員を対象にアンケートを実施したもの。	
調査対象	令和6年9月1日時点の高松市中小企業勤労者福祉共済事業加入者及び被共済者全員 ・加入者（事業主） 622人 ・被共済者（従業員） 7,826人	
調査期間	令和6年9月26日～令和6年10月25日	
調査方法	（配布） ・加入事業所へ郵送にて配布 （回答） ・Web回答 ・FAXによる回収 ・郵送による回収	
調査内容	加入者（事業主）：掛金の事業主負担額など計7項目	P3
	被共済者（従業員）：経費が増加していく中での今後の事業の在り方など計8項目	P9

アンケート回答状況

配布及び回答状況

対象	配布数	回答数	回答率
加入者（事業主）	6 2 2	5 5	8 . 8 4 %
被共済者（従業員）	7 , 8 2 6	1 6 0	2 . 0 4 %

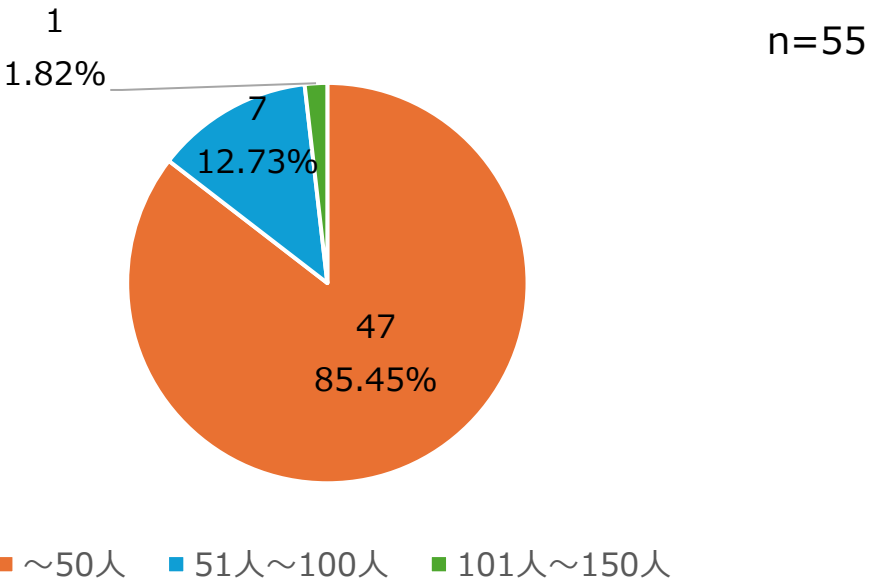
回答方法

対象	回答方法	回答数	回答率
加入者（事業主）	Web回答	1 1	2 0 %
	FAX及び郵送による回収	4 4	8 0 %
被共済者（従業員）	Web回答	7 6	4 7 . 5 %
	FAX及び郵送による回収	8 4	5 2 . 5 %
全体	Web回答	8 7	4 0 . 4 7 %
	FAX及び郵送による回収	1 2 8	5 9 . 5 3 %

調査結果（事業主）

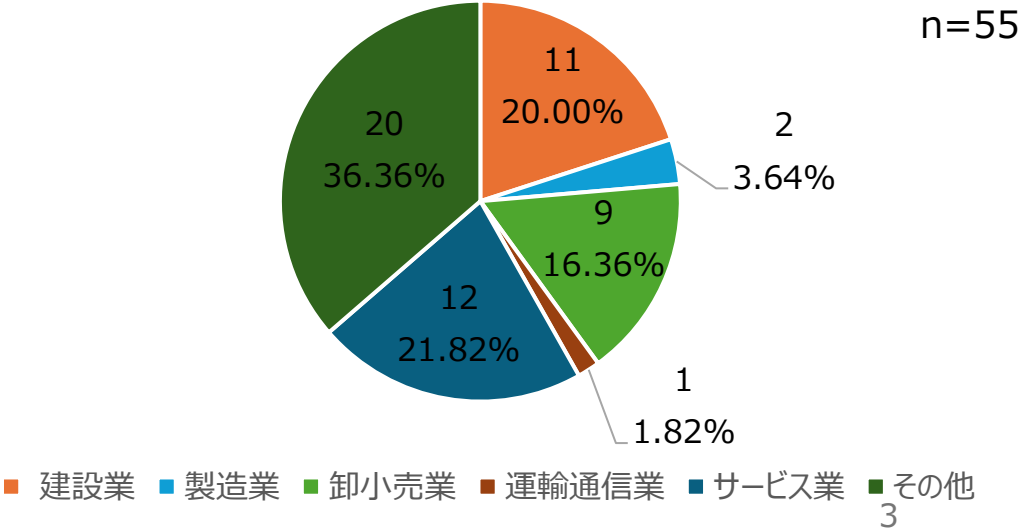
A- 1 御加入いただいている事業所の従業員規模を教えてください。

回答内容	回答数	割合
～50人	47	85.45%
51人～100人	7	12.73%
101人～150人	1	1.82%



A- 2 該当する業種を教えてください。

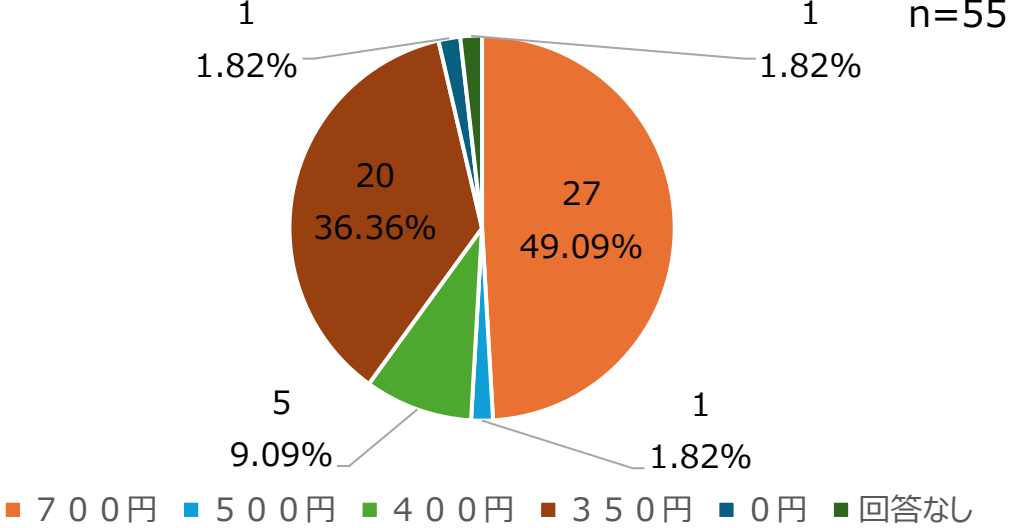
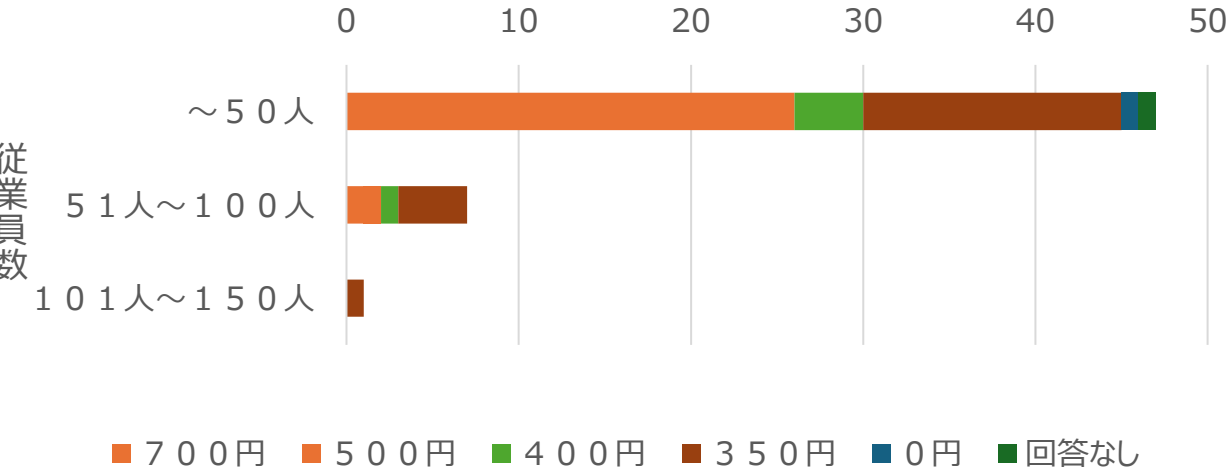
回答内容	回答数	割合
建設業	11	20.00%
製造業	2	3.64%
卸小売業	9	16.36%
運輸通信業	1	1.82%
サービス業	12	21.82%
その他	20	36.36%



調査結果（事業主）

A-3 ウェルぱる高松の掛金は、お一人様月額700円となっており、事業主の方に半分（350円）以上の負担をお願いしています。現在、事業主の方が従業員（被共済者）お一人当たりに負担されている月額金額を教えてください。（例：350円、700円など）

回答内容	回答数	割合
700円	27	49.09%
500円	1	1.82%
400円	5	9.09%
350円	20	36.36%
0円	1	1.82%
回答なし	1	1.82%



【回答傾向・分析】

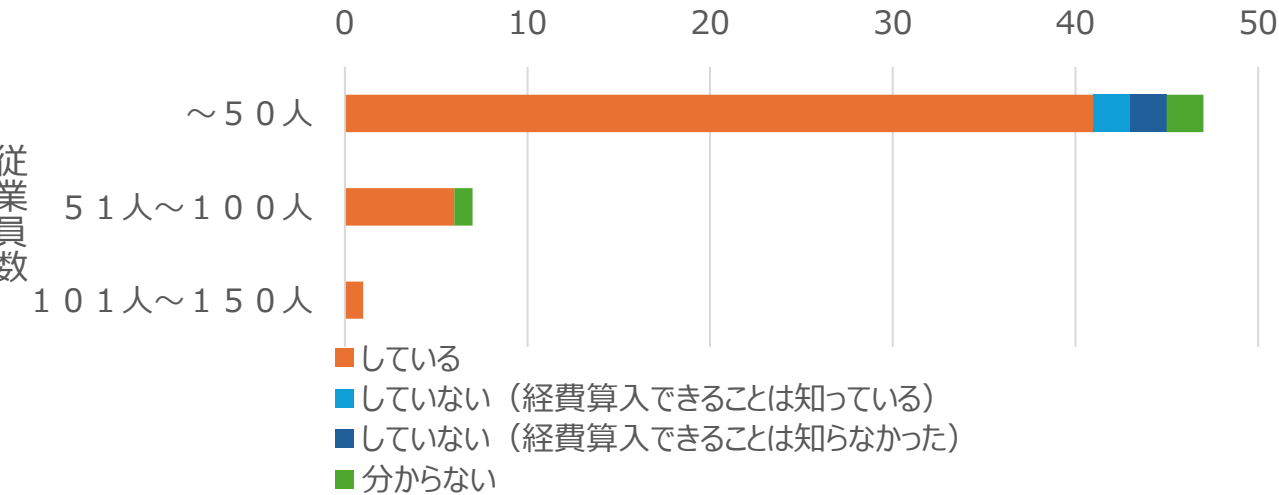
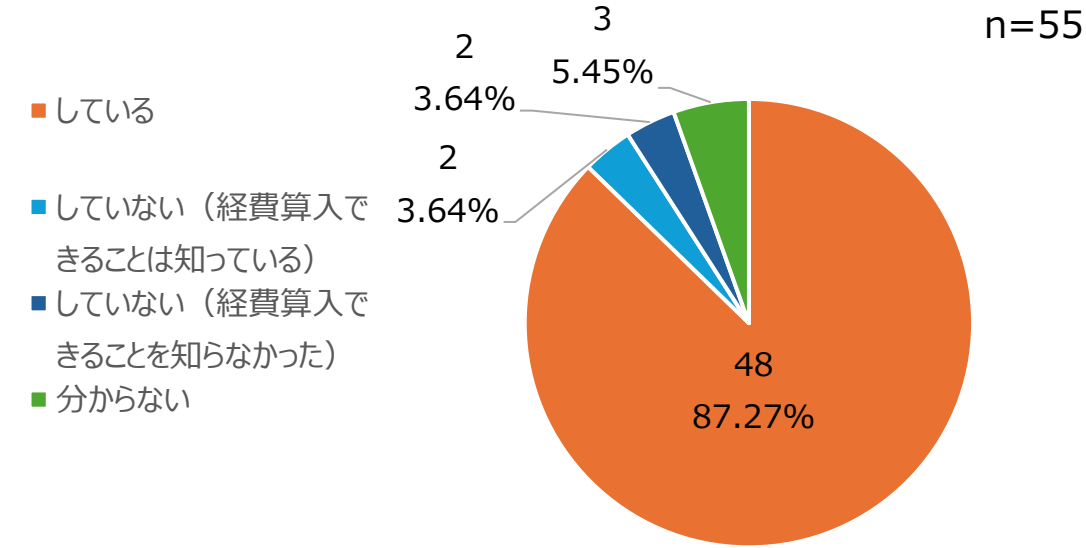
月額掛金負担額は700円と回答した事業主が多数を占めており、従業員に負担を求めずに本事業に加入している事業主が多い。

一方、従業員数別の集計では、小規模事業者ほど事業主の負担額が高いのに対して、従業員数が増加するにつれ、それが低下する傾向がある。

調査結果（事業主）

A-4 事業主負担分の掛金は、経費算入（損金処理）が可能です。現在、経費算入されていますか。

回答内容	回答数	割合
している	48	87.27%
していない （経費算入できることは知っている）	2	3.64%
していない （経費算入できることを知らなかった）	2	3.64%
分からない	3	5.45%



【回答傾向・分析】
事業主負担分の掛金を経費算入している事業主が多くを占めており、経費算入していないものの、経費算入できることを知っている事業主と合わせると、90.91%の事業主が経費算入できることを知っている。
従業員数と経費算入の有無には、関連が見られなかった。

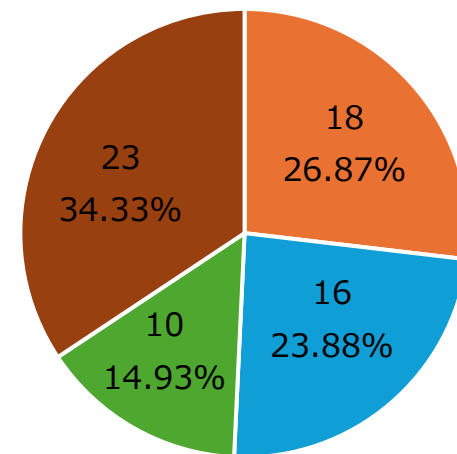
調査結果（事業主）

A-5 ウェルぱる高松に加入することのメリット（理由）を教えてください。（複数回答可）

回答内容	回答数	割合
採用力の向上	18	26.87%
離職の防止	16	23.88%
企業のPR活動	10	14.93%
その他	23	34.33%

※その他の主な内容
・従業員の福利厚生
・給付事業

- 採用力の向上
- 離職の防止
- 企業のPR活動
- その他



【回答傾向・分析】

採用力の向上や離職の防止が加入のメリットであると回答した事業主が多い。その他内容にも、従業員の福利厚生が挙げられていることから、従業員に対するメリットを向上させることで、人材確保につながることが求められていると考えられる。

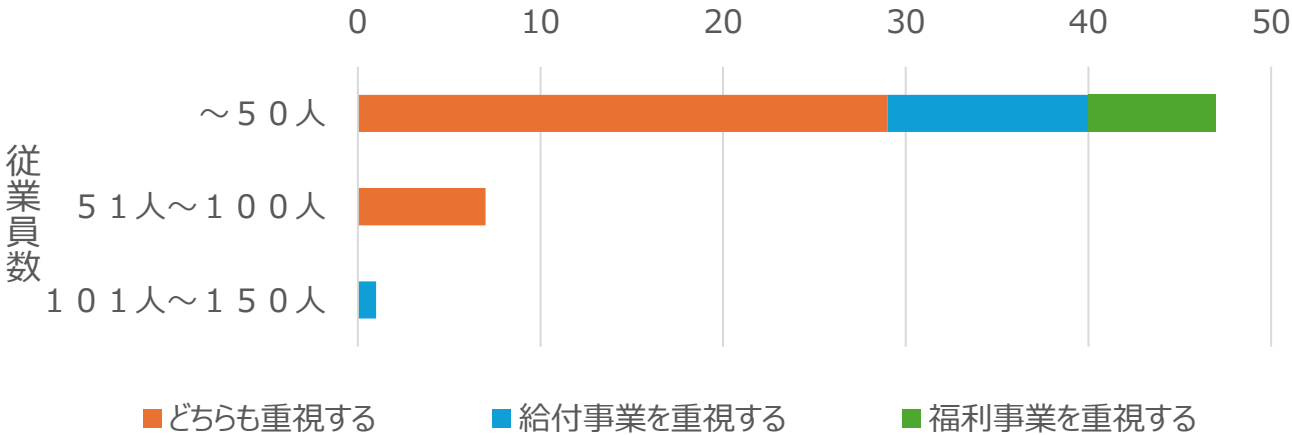
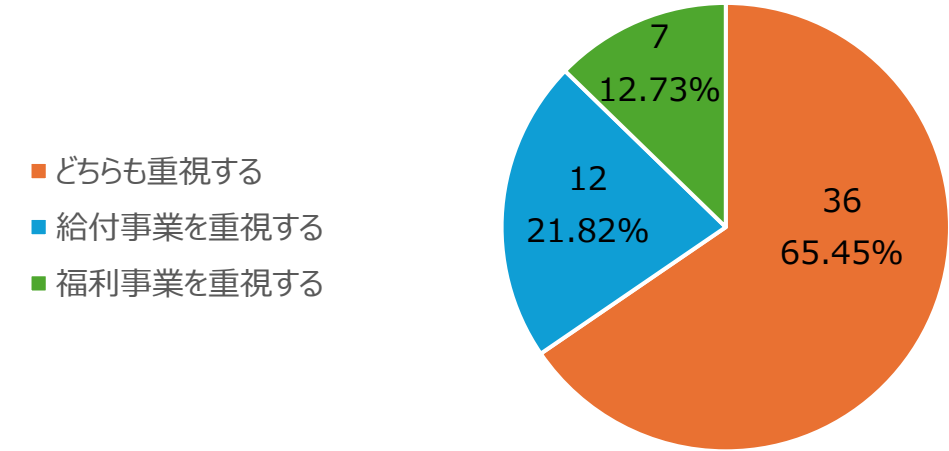
調査結果（事業主）

A-6 ウェルぱる高松には大きく2つの事業があります。従業員の方に対する事業として、どちらの事業を重視するか教えてください。

- ・給付事業：永年勤続慰労金や退職せん別金、結婚祝金や傷病見舞金など
- ・福利事業：旅行事業や文化教養・スポーツ・レジャー割引など

n=55

回答内容	回答数	割合
どちらも重視する	36	65.45%
給付事業を重視する	12	21.82%
福利事業を重視する	7	12.73%



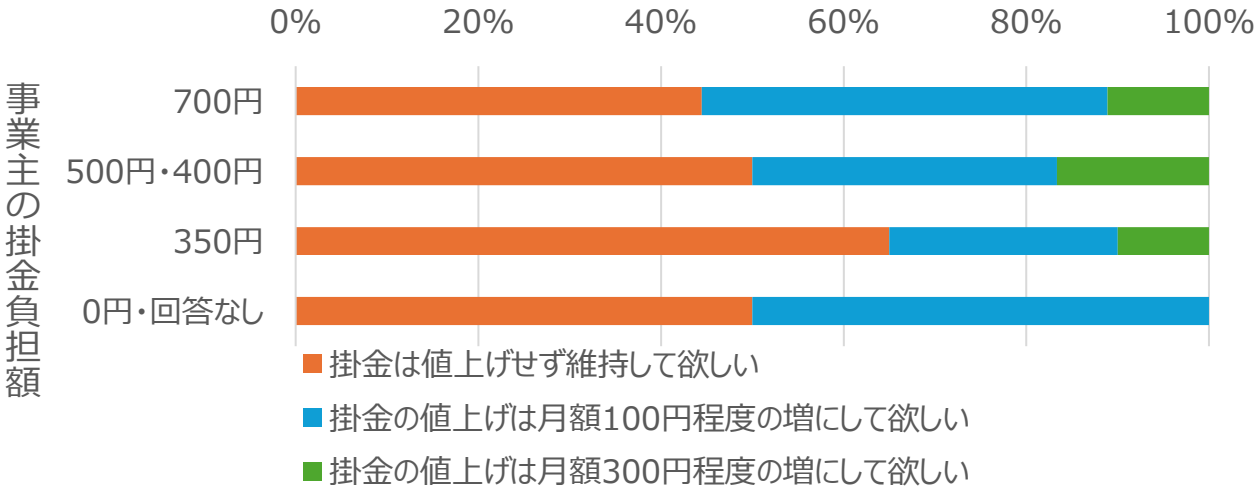
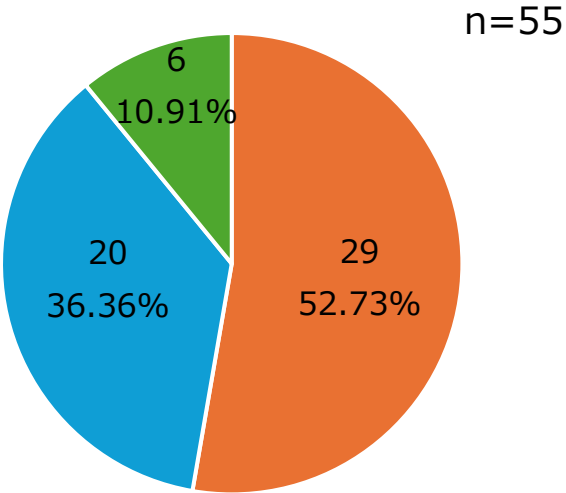
【回答傾向・分析】
どちらの事業も重視する事業主が多数を占めており、バランスの良い事業配分が求められていると考えられる。
また、福利事業よりも給付事業を重視すると答えた事業主が多かった。
なお、従業員数と重視する事業には、関連が見られなかった。

調査結果（事業主）

A-7 物価高騰等により経費が増加していく中、今後のウェルぱる高松の在り方について、いずれの考えに近いか教えてください。

回答内容	回答数	割合
サービス内容の一部縮小はやむを得ないが、掛金はできるだけ値上げせず維持して欲しい	29	52.73%
サービス内容の見直しを行いつつ、掛金の値上げは最小限（お一人様月額100円程度の増）にして欲しい	20	36.36%
掛金の値上げ（お一人様月額300円程度の増）はやむを得ないが、サービス内容は現在のまま維持して欲しい	6	10.91%

- サービス内容の一部縮小はやむを得ないが、掛金はできるだけ値上げせず維持して欲しい
- サービス内容の見直しを行いつつ、掛金の値上げは最小限（お一人様月額100円程度の増）にして欲しい
- 掛金の値上げ（お一人様月額300円程度の増）はやむを得ないが、サービス内容は現在のまま維持して欲しい



【回答傾向・分析】

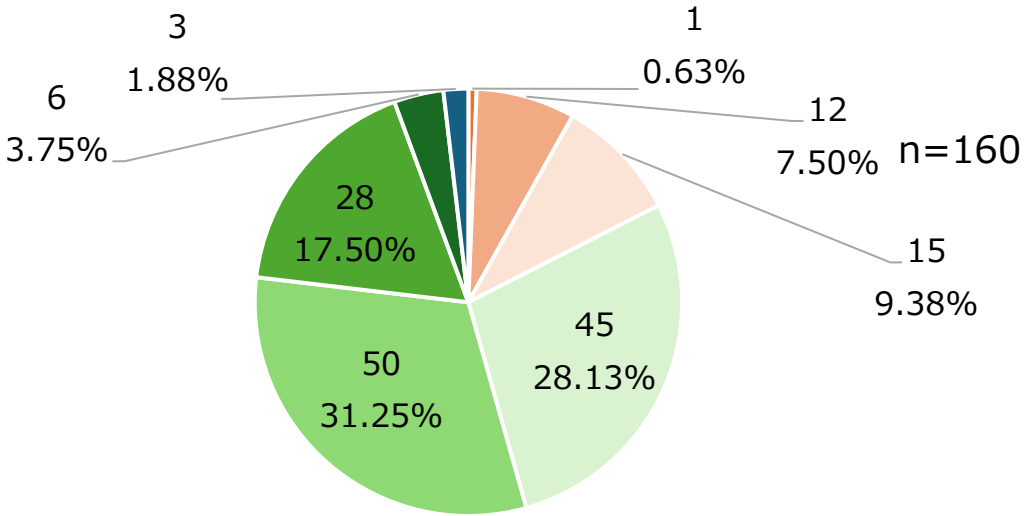
掛金は値上げせず維持して欲しいと答えた事業主が多数を占めている。サービス内容の見直しを行いつつ、掛金の値上げは月額100円程度の増にして欲しいと答えた事業主と合わせると、89.09%の事業主がサービス内容の維持よりも掛金を抑えて欲しいと考えている。

事業主の掛金負担額が低いほど、掛金は値上げせずに維持して欲しいと答えた割合が高い傾向がある。

調査結果（従業員）

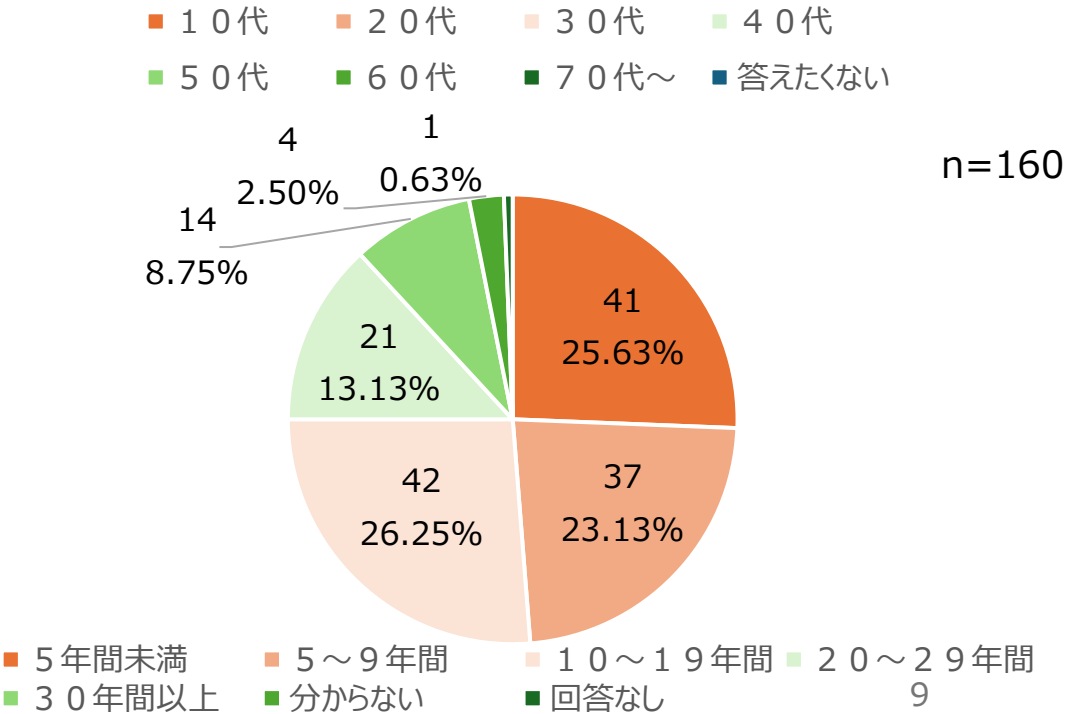
B- 1 御回答いただいている方の年代を教えてください。

回答内容	回答数	割合	回答内容	回答数	割合
1 0代	1	0. 6 3%	5 0代	5 0	3 1. 2 5%
2 0代	1 2	7. 5%	6 0代	2 8	1 7. 5%
3 0代	1 5	9. 3 8%	7 0代～	6	3. 7 5%
4 0代	4 5	2 8. 1 3%	答えたくない	3	1. 8 8%



B- 2 ウェルぱる高松に御加入いただいている年数を教えてください。

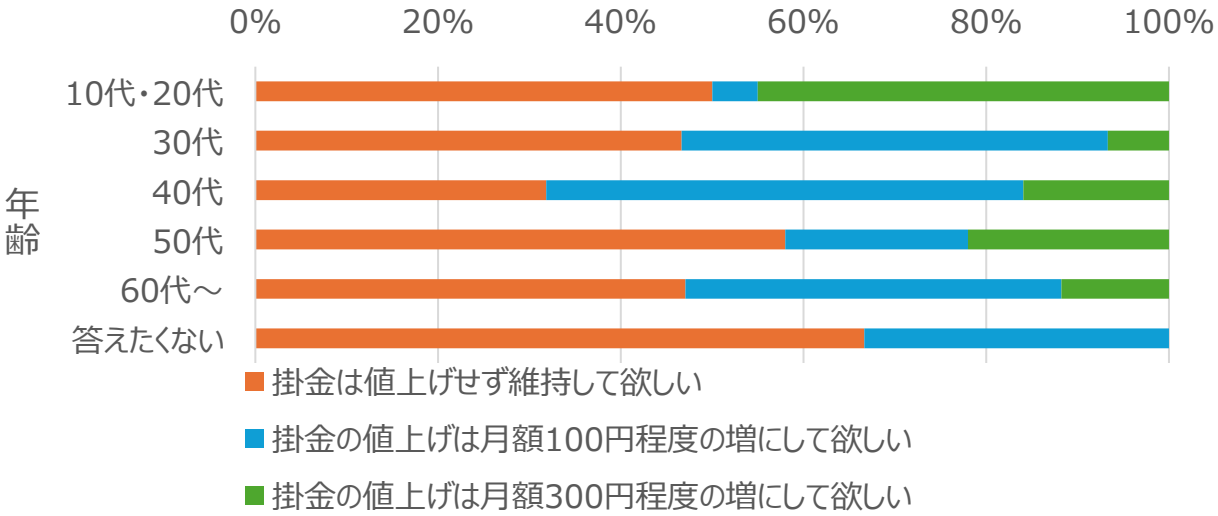
回答内容	回答数	割合
5 年間未満	4 1	2 5. 6 3%
5 ～ 9 年間	3 7	2 3. 1 3%
1 0 ～ 1 9 年間	4 2	2 6. 2 5%
2 0 ～ 2 9 年間	2 1	1 3. 1 3%
3 0 年間以上	1 4	8. 7 5%
分からない	4	2. 5 0%
回答なし	1	0. 6 3%



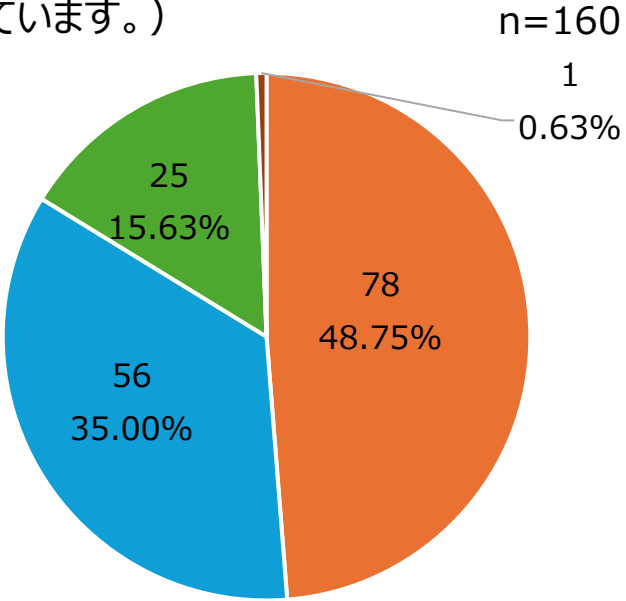
調査結果（従業員）

B-3 物価高騰等により経費が増加していく中、今後のウェルぱる高松の在り方について、いずれの考えに近いか教えてください。
（現在の掛金は、お一人様月額700円となっており、事業主の方に半分（350円）以上の負担をお願いしています。）

回答内容	回答数	割合
サービス内容の一部縮小はやむを得ないが、掛金はできるだけ値上げせず維持して欲しい	78	48.75%
サービス内容の見直しを行いつつ、掛金の値上げは最小限（お一人様月額100円程度の増）にして欲しい	56	35.00%
掛金の値上げ（お一人様月額300円程度の増）はやむを得ないが、サービス内容は現在のまま維持して欲しい	25	15.63%
回答なし	1	0.63%



- サービス内容の一部縮小はやむを得ないが、掛金はできるだけ値上げせず維持して欲しい
- サービス内容の見直しを行いつつ、掛金の値上げは最小限（お一人様月額100円程度の増）にして欲しい
- 掛金の値上げ（お一人様月額300円程度の増）はやむを得ないが、サービス内容は現在のまま維持して欲しい
- 回答なし

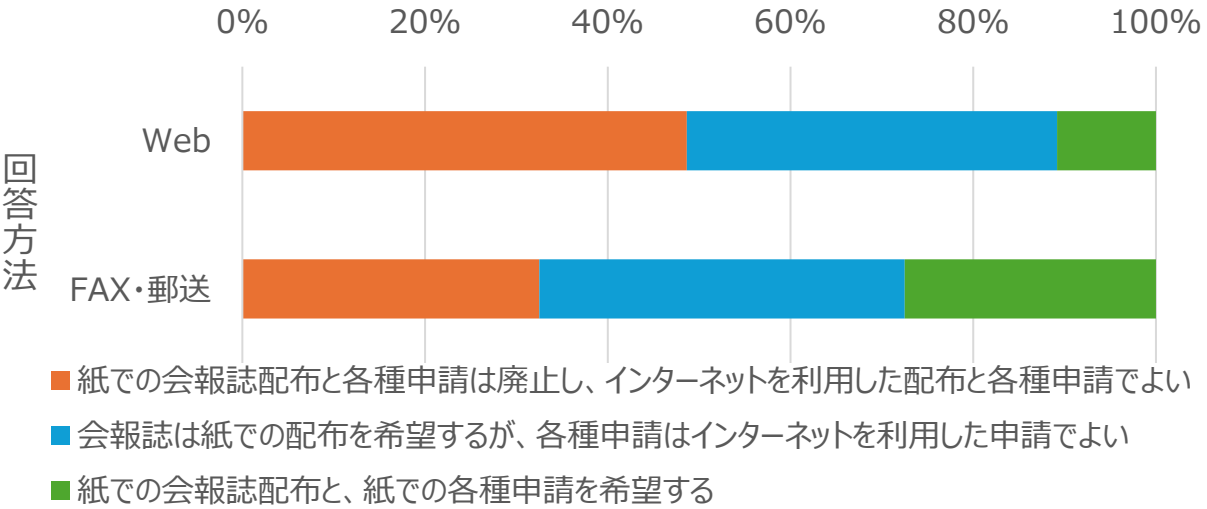


【回答傾向・分析】
事業主と同様の回答傾向にある。
掛金は値上げせず維持して欲しいと答えた従業員が多数を占めている。
サービス内容の見直しを行いつつ、掛金の値上げは月額100円程度の増にして欲しいと答えた従業員と合わせると、83.75%の従業員がサービス内容の維持よりも掛金を抑えて欲しいと考えている。
年齢別では、10代・20代及び50代は掛金の値上げは100円程度の増よりも300円程度の増にしてサービス内容を維持して欲しいと答えた割合が高い。40代は掛金は値上げせず維持して欲しいよりも月額100円程度の増にして欲しいと答えた割合が高い。

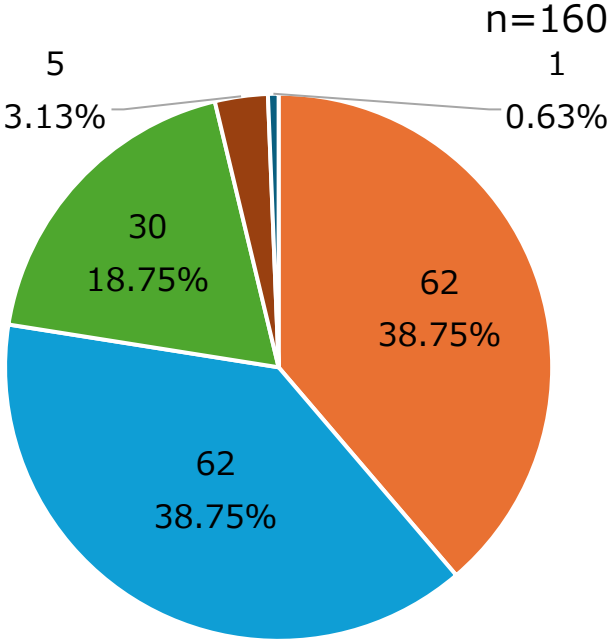
調査結果（従業員）

B-4 会報誌の配布方法と各種申請方法について、最も近い考えを教えてください。

回答内容	回答数	割合
紙での会報誌配布と各種申請は廃止し、インターネットを利用した配布と各種申請でよい	62	38.75%
会報誌は紙での配布を希望するが、各種申請はインターネットを利用した申請でよい	62	38.75%
紙での会報誌配布と、紙での各種申請を希望する	30	18.75%
その他	5	3.13%
回答なし	1	0.63%



- 紙での会報誌配布と各種申請は廃止し、インターネットを利用した配布と各種申請でよい
- 会報誌は紙での配布を希望するが、各種申請はインターネットを利用した申請でよい
- 紙での会報誌配布と、紙での各種申請を希望する
- その他
- 回答なし



【回答傾向・分析】
57.5%の従業員は、紙での会報誌配布を希望しており、77.5%の従業員は、インターネットでの各種申請でよいと回答している。
回答方法別では、FAX・郵送で回答した従業員が、紙での会報誌配布や各種申請を希望する割合が高い。

※その他の主な意見
・ネットはわざわざ見ない。
・紙を無くして経費削減して欲しい。

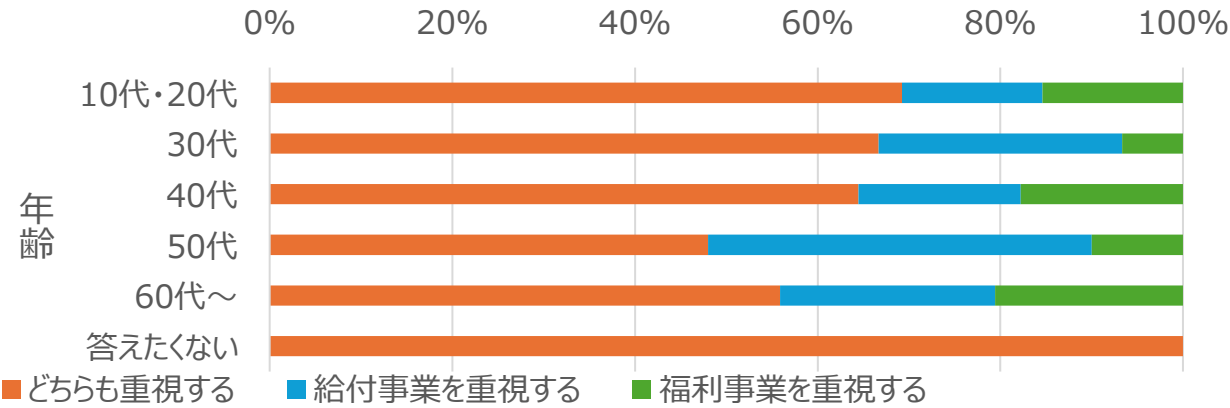
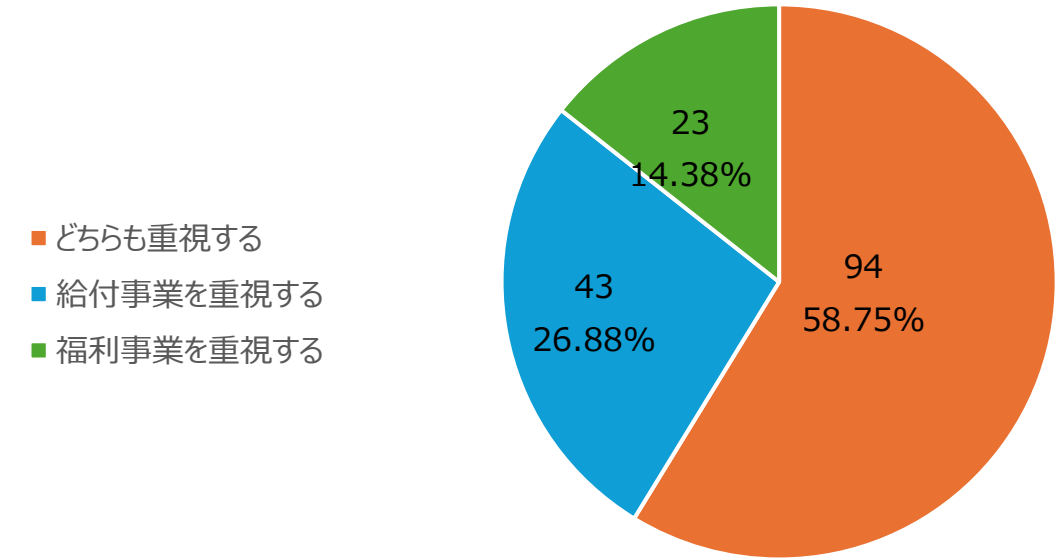
調査結果（従業員）

B- 5 ウェルぱる高松には 2 つの事業があります。どちらの事業を重視するか教えてください。

n=160

- ・給付事業：永年勤続慰労金や退職せん別金、結婚祝金や傷病見舞金など
- ・福利事業：旅行事業や文化教養・スポーツ・レジャー割引など

回答内容	回答数	割合
どちらも重視する	94	58.75%
給付事業を重視する	43	26.88%
福利事業を重視する	23	14.38%

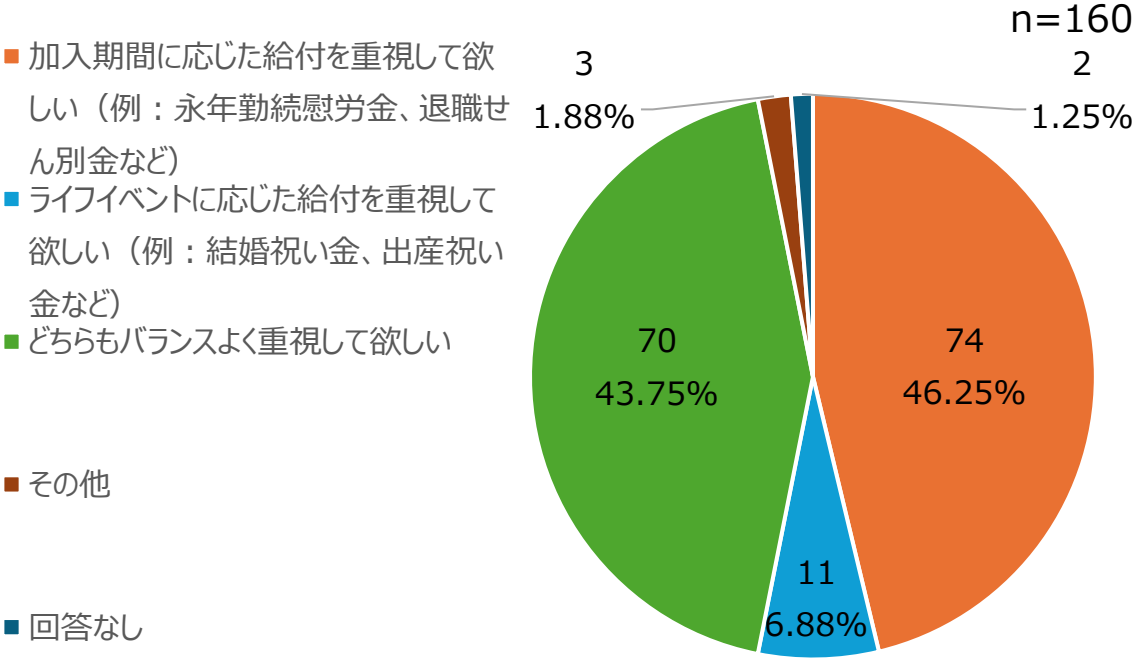
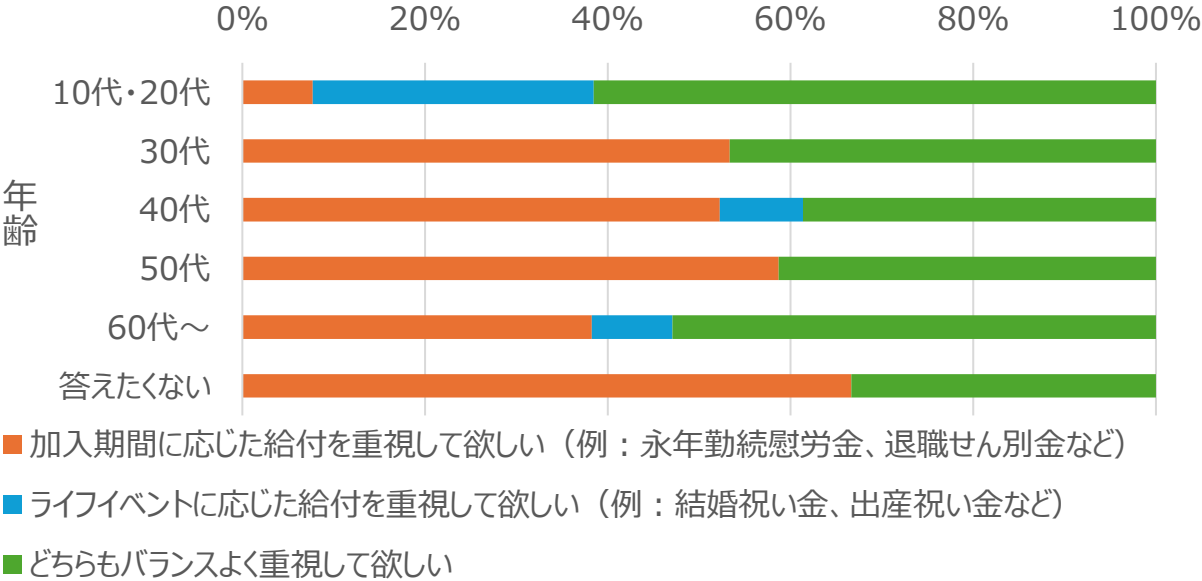


【回答傾向・分析】
事業主と同様の回答傾向にある。
どちらの事業も重視する従業員が多数を占めており、バランスの良い事業配分が求められていると考えられる。
また、福利事業よりも給付事業を重視すると答えた従業員が多かった。
10代～40代はどちらも重視する割合が高く、50代は給付事業を重視する割合が全体と比較して高くなっている。

調査結果（従業員）

B- 6 【給付事業】給付内容で重視して欲しいものについて教えてください。

回答内容	回答数	割合
加入期間に応じた給付を重視して欲しい（例：永年勤続慰労金、退職せん別金など）	74	46.25%
ライフイベントに応じた給付を重視して欲しい（例：結婚祝い金、出産祝い金など）	11	6.88%
どちらもバランスよく重視して欲しい	70	43.75%
その他	3	1.88%
回答なし	2	1.25%



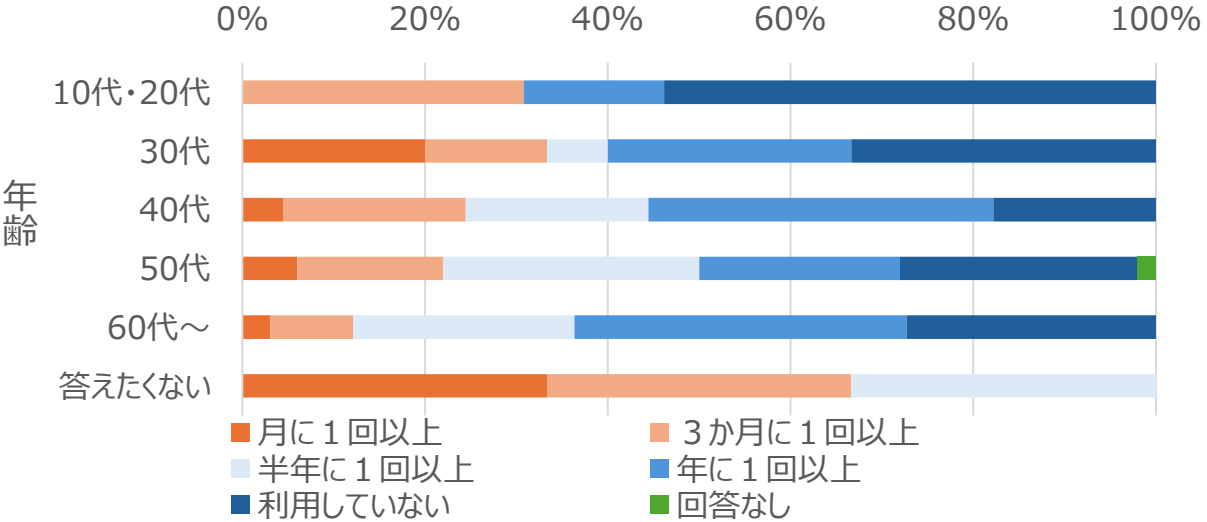
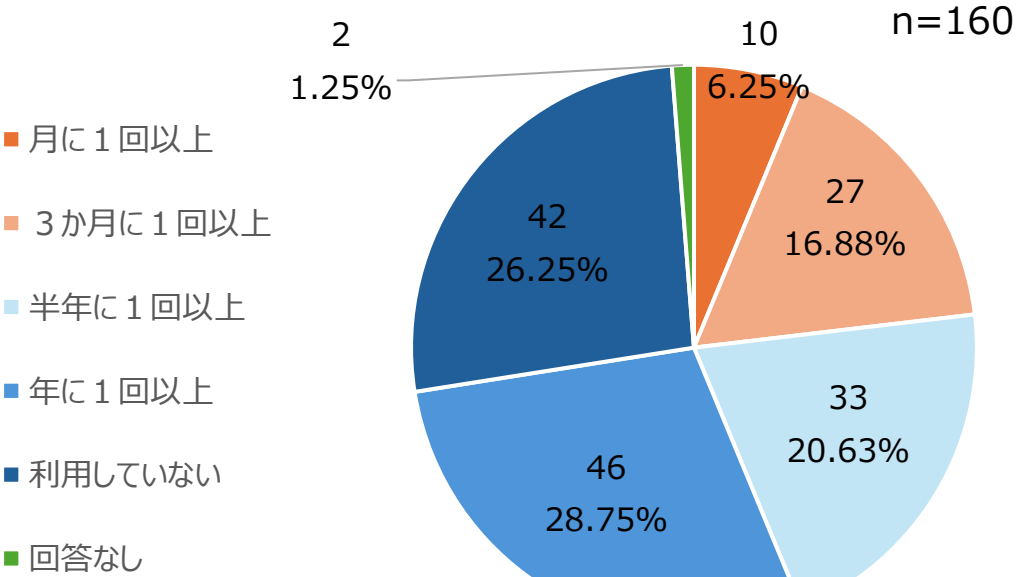
【回答傾向・分析】
加入期間に応じた給付を重視して欲しいと答えた従業員が多く、次に、どちらもバランスよく重視して欲しいと答えた従業員が多い。
年齢別では、10代はライフイベントに応じた給付を重視すると答えた割合が全体と比べて高く、30代～50代は加入期間に応じた給付を重視すると答えた割合が若干高い。

※その他の主な意見
・出産祝い金は理解できるが、結婚祝い金は不要。

調査結果（従業員）

B- 7 【福利事業】福利事業のサービス全体の利用する頻度を教えてください。

回答内容	回答数	割合
月に1回以上	10	6.25%
3か月に1回以上	27	16.88%
半年に1回以上	33	20.63%
年に1回以上	46	28.75%
利用していない	42	26.25%
回答なし	2	1.25%



【回答傾向・分析】
55%の従業員が、年に1回以上の利用又は利用していないと回答しており、半年に1回以上の利用と答えた従業員と合わせると、75.63%となる。
10代・20代は利用していない割合が高いが、3か月に1回以上利用する割合も全体と比較して高い。30代は月に1回以上利用する割合が高いが、年に1回以上の利用又は利用していない割合は全体と同程度であり、10代～30代の利用頻度は二極化が進んでいる。

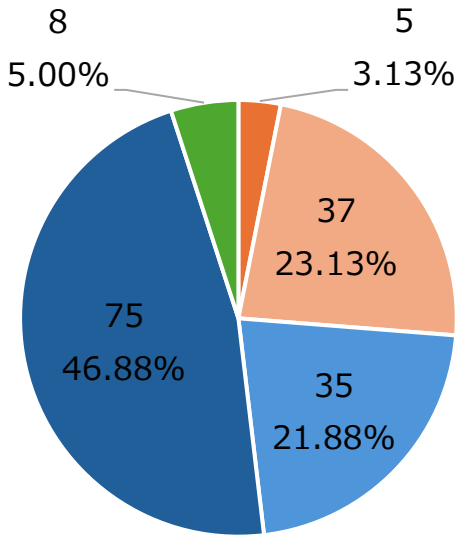
調査結果（従業員）

B-8 【福利事業】福利事業の各サービスの中での利用状況を教えてください。

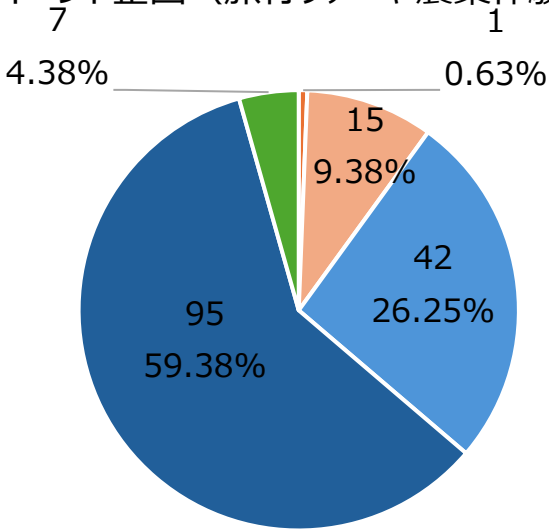
n=160

（１）コンサートなどのチケット割引

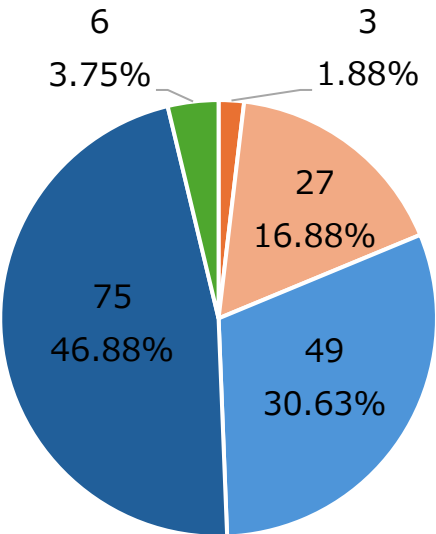
- よく利用する
- 時々利用する
- あまり利用しない
- 全く利用しない
- 回答なし



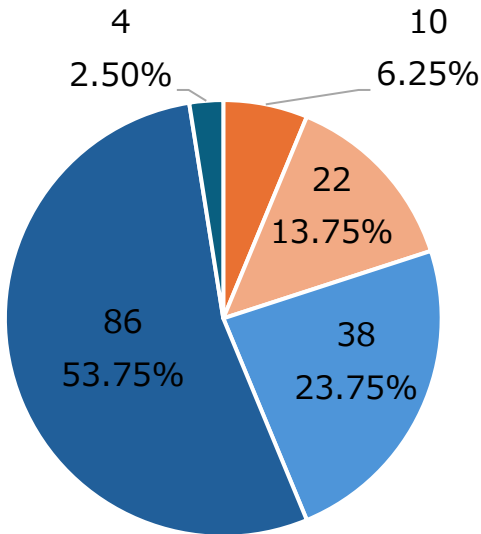
（２）イベント企画（旅行ツアーや農業体験など）



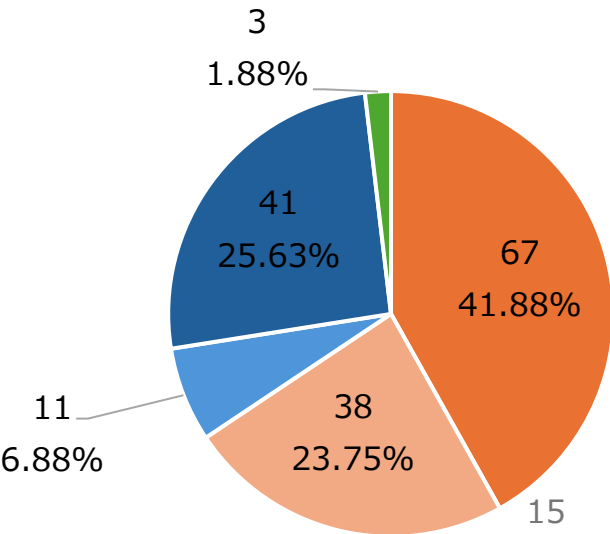
（３）グルメ割引



（４）旅行補助



（５）映画チケット割引



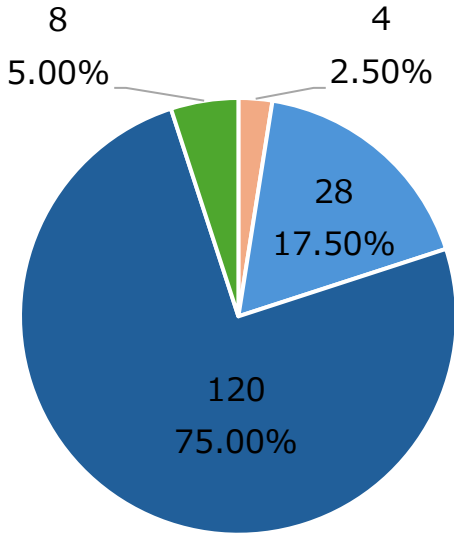
調査結果（従業員）

B-8 【福利事業】福利事業の各サービスの中での利用状況を教えてください。

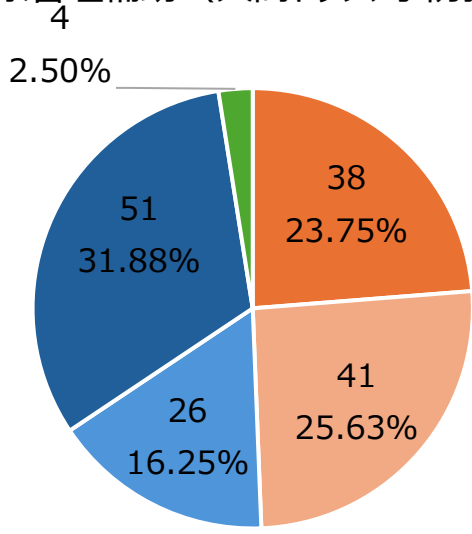
n=160

（6）カルチャー教室割引

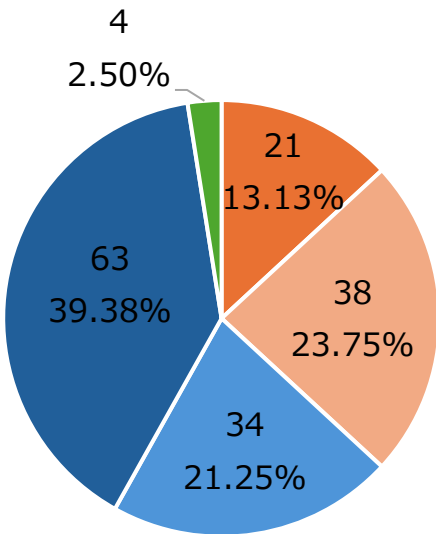
- よく利用する
- 時々利用する
- あまり利用しない
- 全く利用しない
- 回答なし



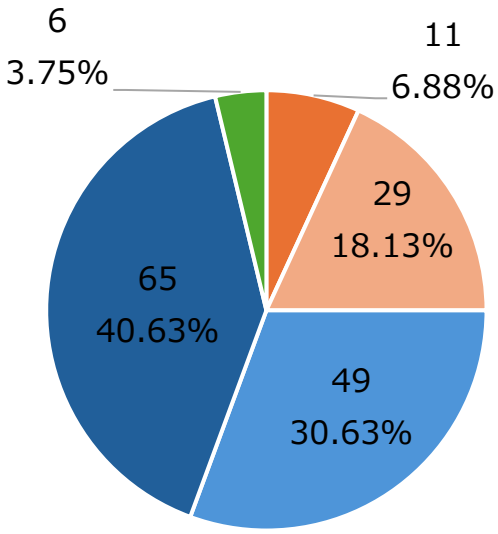
（7）健康管理補助（人間ドック、予防接種など）



（8）プールや温泉施設割引



（9）割引ガイドブック指定店の特典

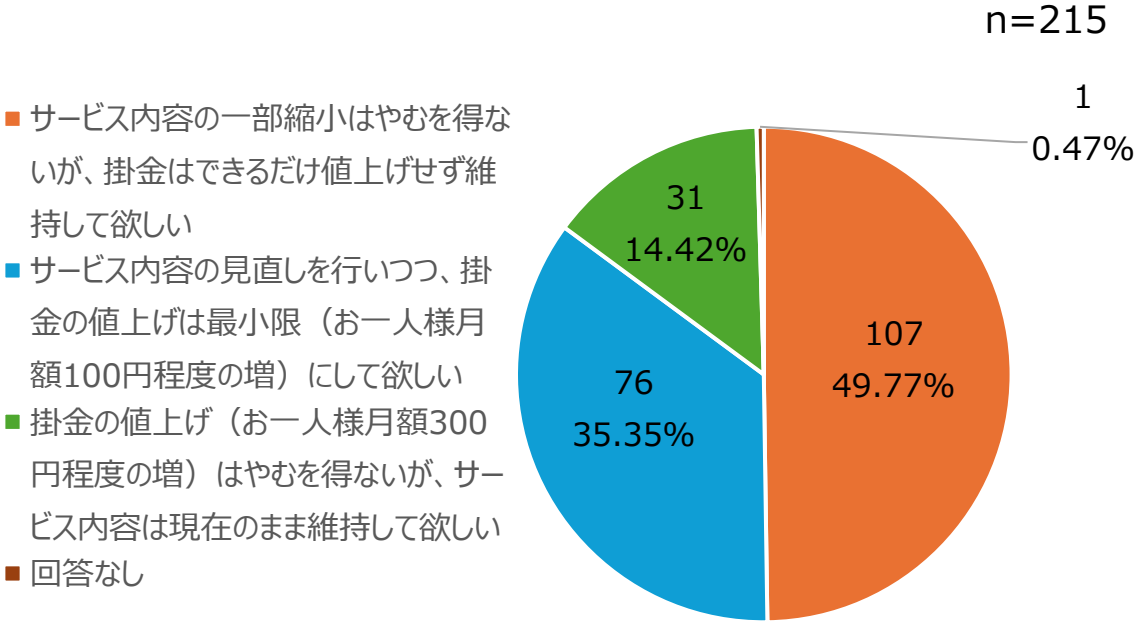
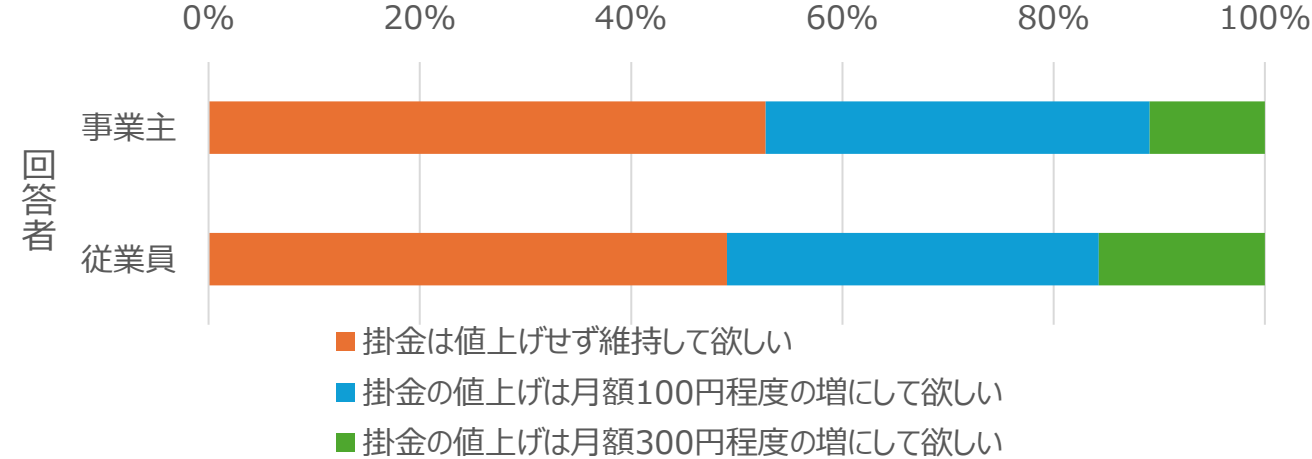


【回答傾向・分析】
よく利用すると答えた割合が最も高かったのは、映画チケット割引であり、次に健康管理補助の割合が高かった。
全く利用しないと答えた割合が最も高かったのは、カルチャー教室割引であり、次にイベント企画の割合が高かった。

調査結果（総合）

【事業主と従業員】 物価高騰等により経費が増加していく中、今後のウェルばる高松の在り方について、いずれの考えに近いかわせてください。（現在の掛金は、お一人様月額700円となっており、事業主の方に半分（350円）以上の負担をお願いしています。）

回答内容	事業主	従業員	合計	割合
サービス内容の一部縮小はやむを得ないが、掛金はできるだけ値上げせず維持して欲しい	29	78	107	49.77%
サービス内容の見直しを行いつつ、掛金の値上げは最小限（お一人様月額100円程度の増）にして欲しい	20	56	76	35.35%
掛金の値上げ（お一人様月額300円程度の増）はやむを得ないが、サービス内容は現在のまま維持して欲しい	6	25	31	14.42%
回答なし	0	1	1	0.47%



【回答傾向・分析】
事業主と従業員では同様の回答傾向であったが、掛金を値上げせず維持して欲しいと答えた割合が、従業員よりも事業主の方が高かった。